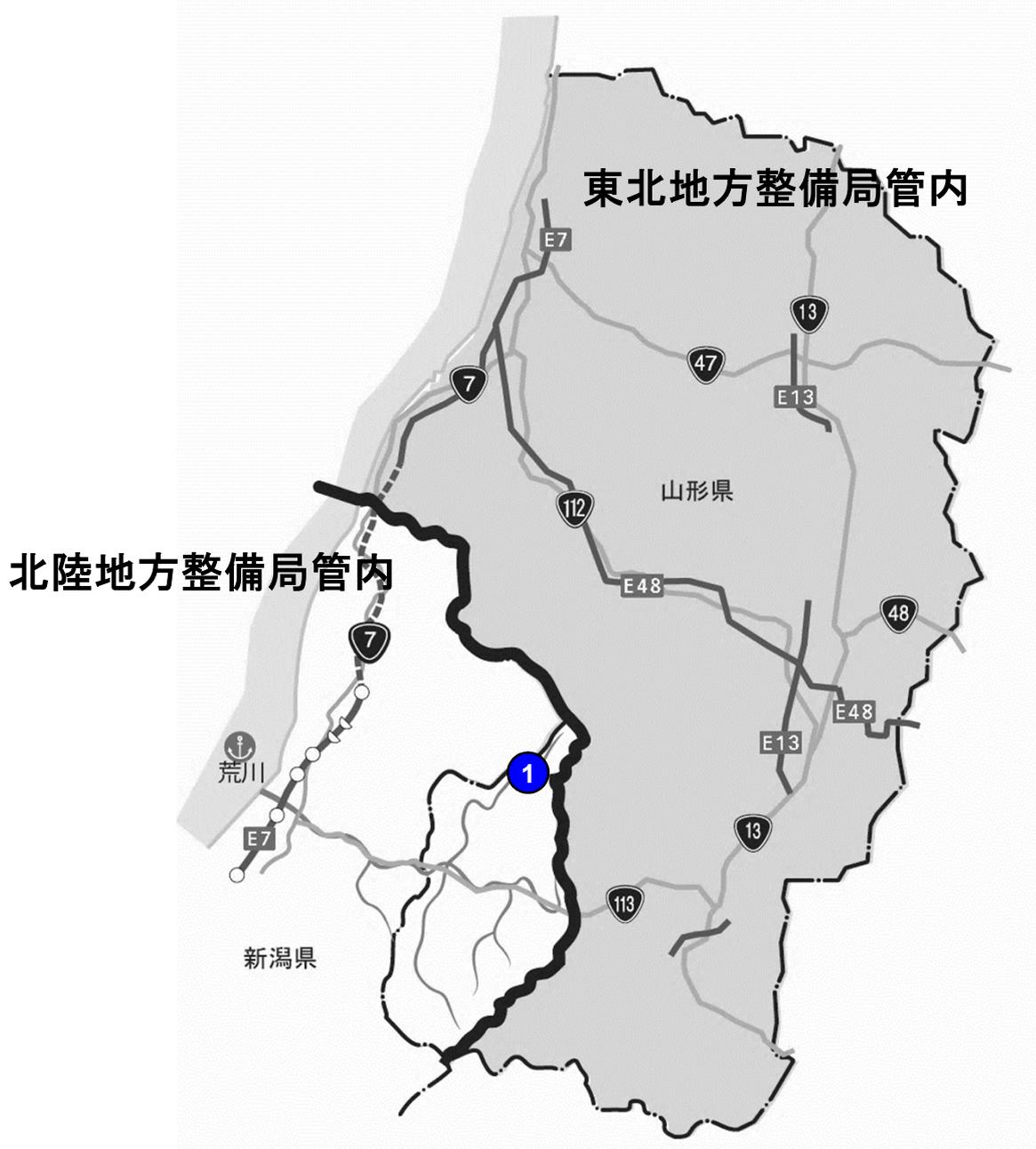


山形県内の主要事業

治水

1	直轄	飯豊山系(砂防) 荒川上流砂防堰堤改築
---	----	------------------------



凡例	治水事業
----	------

飯豊山系直轄砂防事業の推進

山形県西置賜郡小国町（荒川上流砂防堰堤改築）

R5事業費
573百万円

事業の概要

飯豊山系の荒川流域は、荒廃が著しい渓流や崩壊した斜面が多数存在し、河床には不安定な土砂や流木が大量に堆積しており、昨今の気象変動による影響で頻発化している集中豪雨により水害・土砂災害が激甚化する危険性が高い流域です。

令和4年8月3日からの大雨により、山腹崩壊や土石流が多発しましたが、既設の砂防堰堤によって土砂・流木を捕捉し、下流への被害を軽減しました。

荒川上流砂防堰堤改築では、「流域治水」の一環として土砂及び流木災害を防止するため、砂防堰堤の機能向上を目的とした改築を実施します。

整備効果

砂防堰堤の改築により、飯豊山系の土砂・洪水氾濫に対する治水安全度を向上させ、保全対象である山形県西置賜郡小国町をはじめとした沿川地域における安全と安心を確保します。

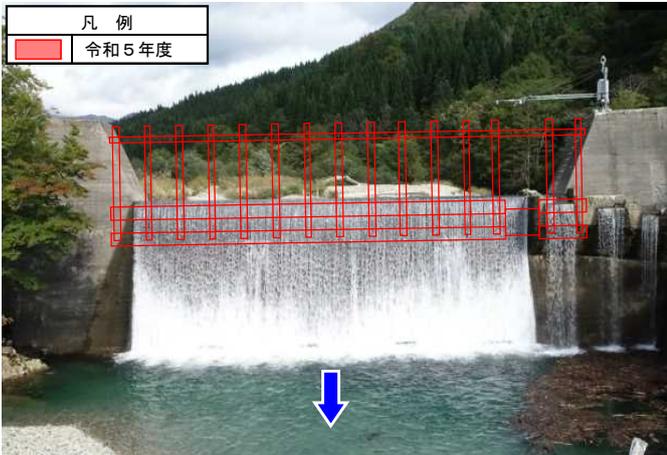
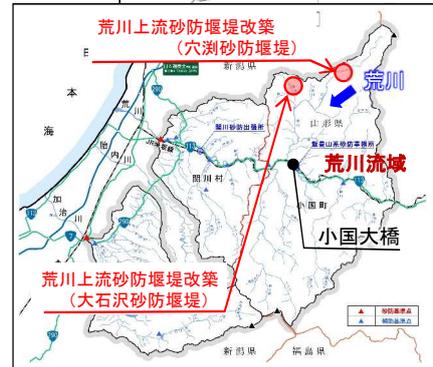
令和5年度の事業内容

五味沢、入折戸地区において、砂防堰堤工の整備を推進します。



穴瀧砂防堰堤（下流上空より望む）

位置図

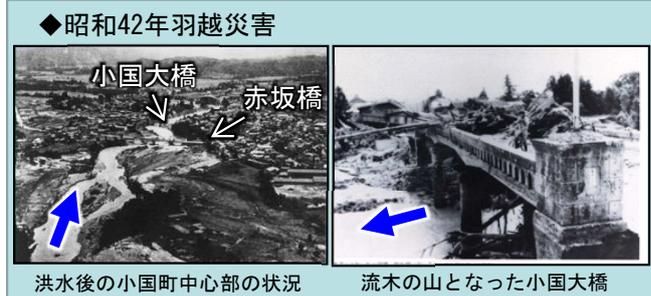


穴瀧砂防堰堤（流木止施工箇所）

凡例
令和5年度



◆流木捕捉状況
(R4年8月)



◆昭和42年羽越災害

小国大橋 赤坂橋

洪水後の小国町中心部の状況

流木の山となった小国大橋

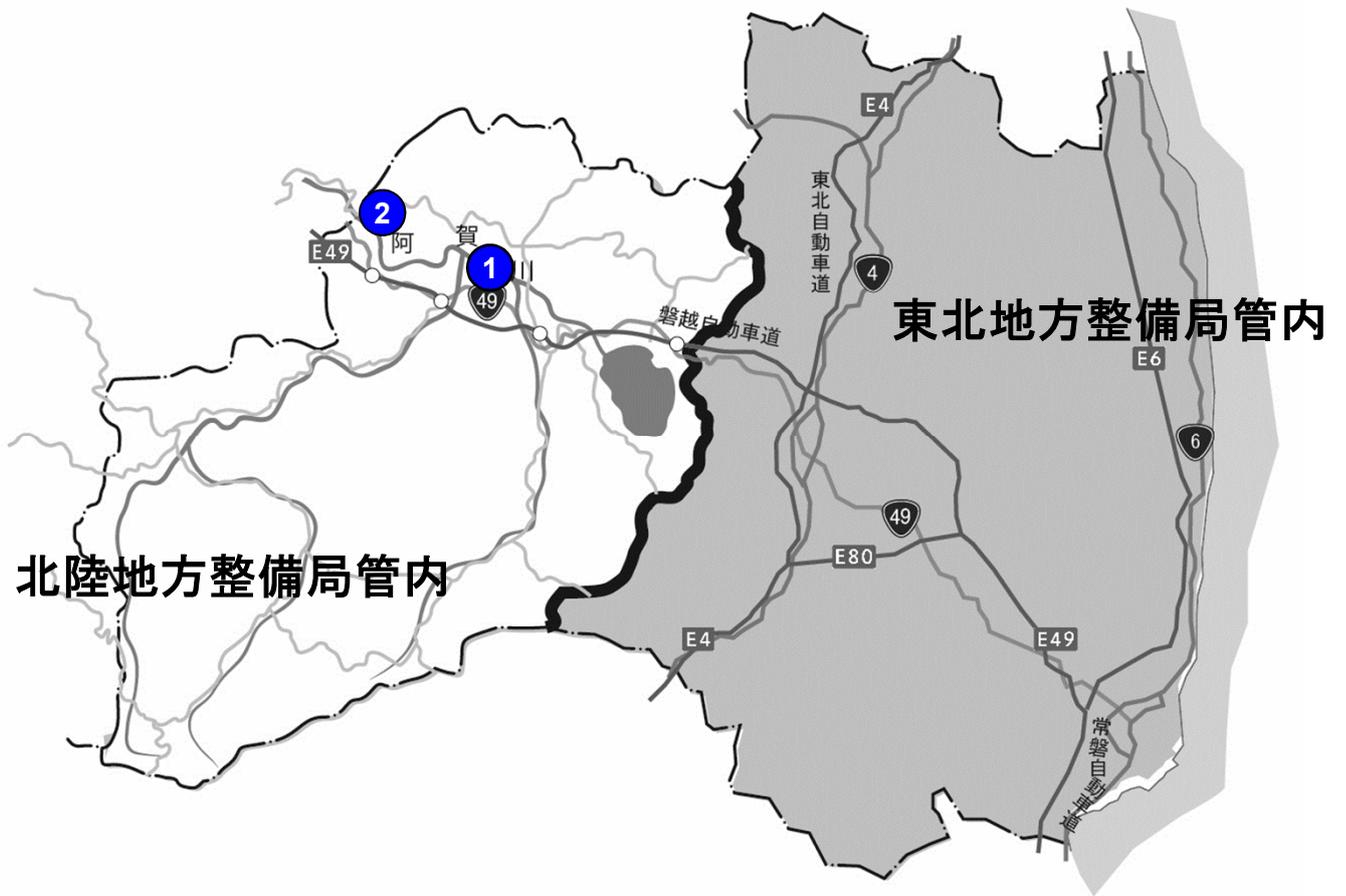
▶ 北陸地方整備局管内の流域治水プロジェクトについては、下記にてご覧いただけます。

<https://www.hrr.mlit.go.jp/river/ryuikitisui/top.html>

福島県内の主要事業

治水

1	直轄	阿賀川 長井地区下流狭窄部対策
2	直轄	滝坂地区直轄地すべり対策



凡例 治水事業

あががわ ながい
阿賀川 長井地区狭窄部対策 の推進
ふくしま きたかた
福島県喜多方市

R5事業費
404百万円※1

※1: 阿賀川河川改修事業のR5全体事業費

事業の概要

あががわ
阿賀川直轄管理区間の最下流部は川幅が狭い狭窄部のため、洪水時の水位上昇が著しく古くから
あいづ
会津盆地の水害の原因となっており、昭和57年9月、平成14年7月洪水時には内水はん濫及び漏水等
の被害が発生しました。そのため、阿賀川下流部の狭窄部対策として泡の巻地区、津尻地区の河道
掘削を計画的に実施してきており、現在、ながい
長井地区の河道掘削を実施しています。

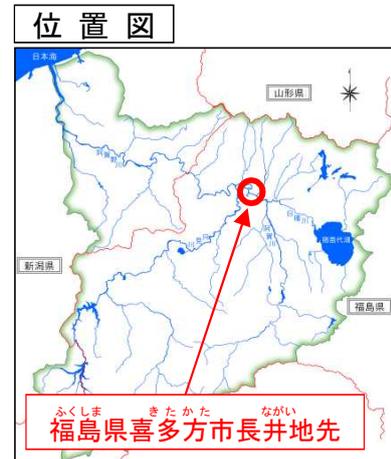
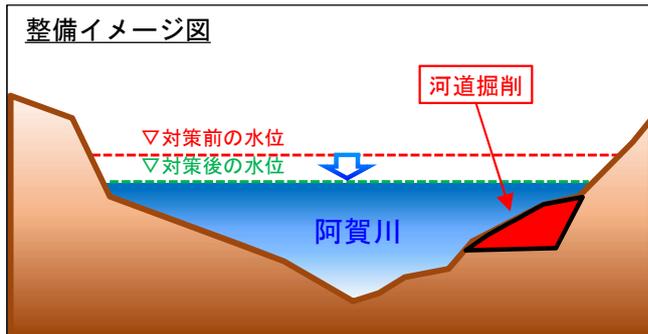
あががわ
阿賀野川水系における流域治水の一環として、あががわ ながい
阿賀川（長井地区）において、河道掘削等を推進
します。

整備効果

河道掘削等の推進により、あががわ
阿賀川流域の治水安全度を向上させます。

令和5年度の事業内容

氾濫をできるだけ防ぐ、減らすための対策として、
ながい
長井地区の河道掘削等を推進します。



➤ 北陸地方整備局管内の流域治水プロジェクトについては、下記にてご覧いただけます。
<https://www.hrr.mlit.go.jp/river/ryuikitisui/top.html>

滝坂地区直轄地すべり対策事業の推進

福島県 耶麻郡 西会津町

R5事業費
478百万円

事業の概要

滝坂地すべりは、福島県西会津町の新潟県境近くに存在し、面積約150ha、深さ（高さ）約140mの地すべり土塊を有する国内最大級の地すべりであり、平成8年に直轄地すべり対策事業が開始されるまでは、年間約100cmを超える活発な地すべり活動が発生していました。

万が一、地すべり活動の活発化によって阿賀川本川に河道閉塞が形成されてしまうと、上流の西会津町や喜多方市では湛水による広域的な被害が発生し、また、下流の沿川一帯では河道閉塞の土塊が決壊し、一気に流下することで大規模な水害・土砂災害が発生してしまう危険性があります。

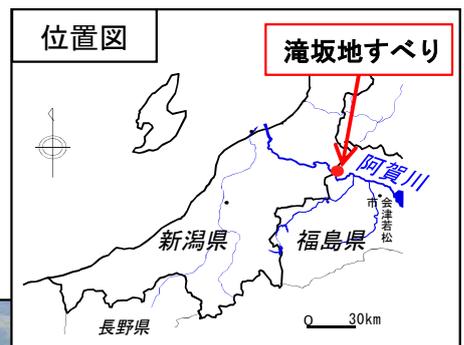
滝坂地区直轄地すべり対策事業では、「流域治水」の一環として土砂災害を防止するため、集水井や排水トンネル等の各種地すべり防止施設の整備を実施します。

整備効果

地すべり防止施設の整備により、阿賀野川水系の土砂災害に対する治水安全度を向上させ、保全対象である福島県西会津町をはじめとした沿川地域における安全と安心を確保します。

令和5年度の事業内容

豊洲地区において、地すべり防止施設の整備を推進します。



◆S33年頃
ひきまき
引牧の住居軒下の開口亀裂



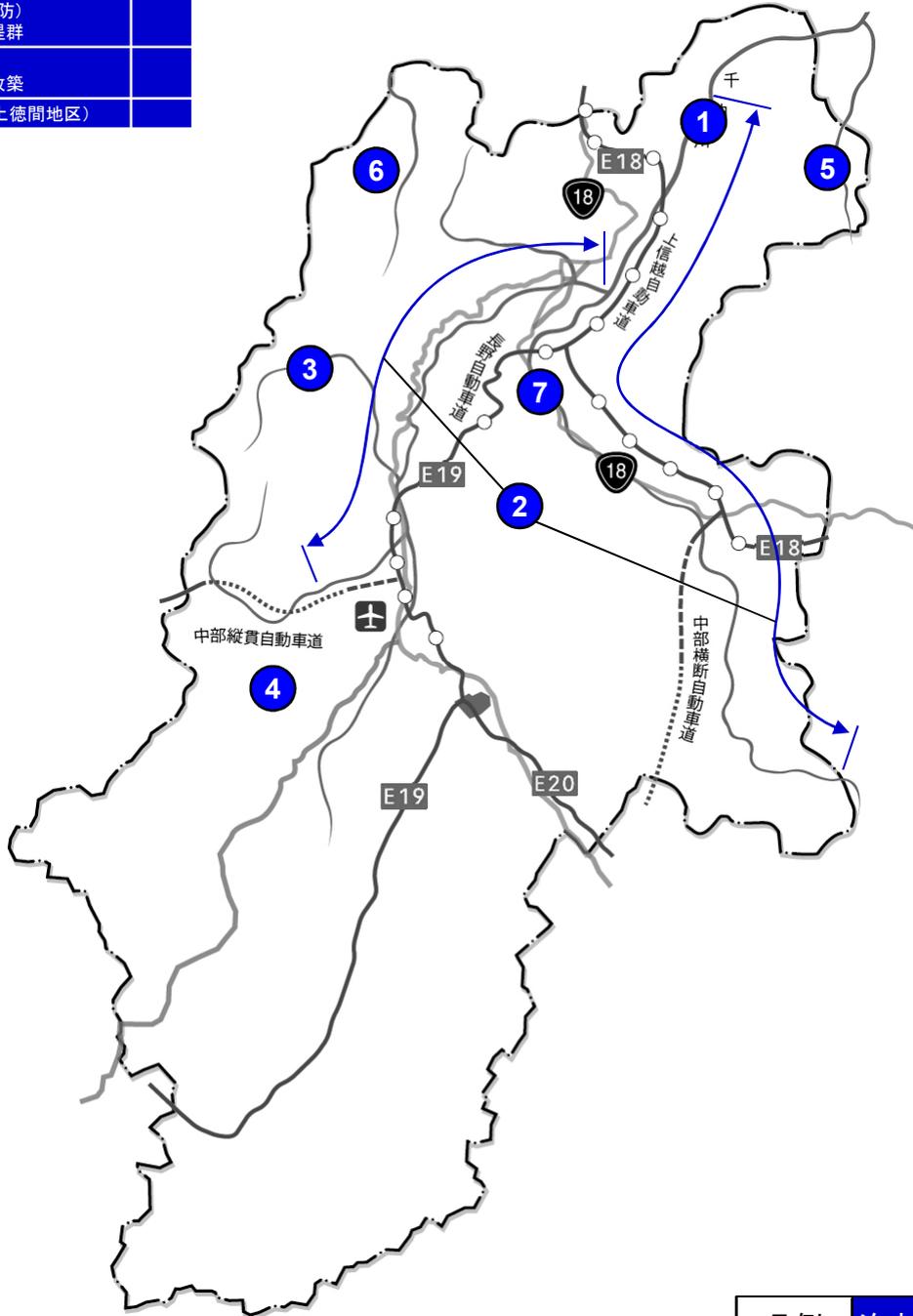
◆H6年頃
そでのさわ
袖ノ沢地区の地割れ

➤ 北陸地方整備局管内の流域治水プロジェクトについては、下記にてご覧いただけます。
<https://www.hrr.mlit.go.jp/river/ryuikitisui/top.html>

長野県内の主要事業

治水

1	直轄	千曲川 飯山地区MIZBEステーション整備	新規
2	直轄	信濃川水系 緊急治水対策プロジェクト(千曲川)	
3	直轄	大町ダム等再編事業	
4	直轄	信濃川上流水系(砂防) 境川溪流保全工(Ⅱ期)	
5	直轄	信濃川下流水系(砂防) 中津川上流砂防堰堤群	
6	直轄	姫川水系(砂防) 松川流域砂防設備改築	
7	直轄	千曲川 環境整備(上徳間地区)	



凡例 治水事業

ちくまがわ
千曲川

いいやま
飯山地区MIZBEステーション整備
ながの いいやま
長野県飯山市

の着手
R5事業費
774百万円※1

※1：千曲川河川改修事業のR5全体事業費

事業の概要

千曲川では、昭和57年9月洪水及び昭和58年9月洪水、近年では令和元年東日本台風（台風第19号）洪水等によって、堤防が決壊し、家屋等の浸水被害が発生しました。

飯山地区MIZBEステーションは、信濃川水系の洪水被害を最小限とするため、災害時の緊急復旧活動を行う上で必要なコンクリートブロックなどの緊急用資材の備蓄や、駐車場、ヘリポート等の災害時の活動拠点整備を行うとともに、平時は飯山市が整備する水防センター及び隣接する道の駅を含めて地域の活性化や賑わいを創出する施設です。

信濃川水系における流域治水の一環として、千曲川（常磐地区）においてMIZBEステーション整備等に着手します。

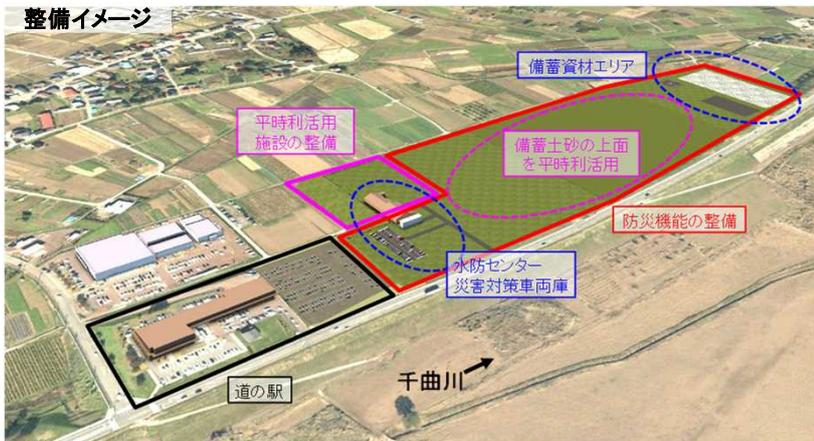
整備効果

MIZBEステーション整備の着手により、迅速かつ円滑な復旧活動を行う体制の強化を図ります。

令和5年度予算の事業内容

地域活性化や地域の賑わいを創出しているMIZBEステーション整備に伴う用地取得等に着手します。

整備イメージ



現在の道の駅 利用状況



平時利活用のイメージ



※今後、工事实施のための詳細な設計等を実施することにより、詳細について今後変更となる場合がある。

➤ 北陸地方整備局管内の流域治水プロジェクトについては、下記にてご覧いただけます。

<https://www.hrr.mlit.go.jp/river/ryuikitisui/top.html>

信濃川水系緊急治水対策プロジェクト(千曲川)※1の推進

ながの ながの
長野県長野市 他

R4補正及びR5事業費
16,823百万円※2

※2:千曲川の河川等大規模災害関連事業費のR4補正及びR5全体事業費

事業の概要

令和元年東日本台風では信濃川水系の千曲川上流域から信濃川中流域の広域にわたって甚大な被害が発生したことから、「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」として、国、県、市町村が連携して河川整備によるハード対策と流域における対策や地域連携によるソフト対策を一体的かつ緊急的に推進します。

「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」の概要

- 以下の3つを柱として取り組んでいきます。
 - ①被害の軽減に向けた治水対策の推進（河川における対策）
 - ②地域が連携した浸水被害軽減対策の推進（流域における対策）
 - ③減災に向けた更なる取組の推進（まちづくり、ソフト施策）

関係機関が連携し、上記の3つの取組を実施し、「再度災害防止・軽減」、「逃げ遅れゼロ」、「社会経済被害の最小化」を目指します。

令和5年度の事業内容

信濃川水系緊急治水対策プロジェクト(千曲川)の「河川における対策」の内、水位低減を図る河道掘削、堤防強化及び遊水地を推進します。

～ みんなで つなぐ しなの の川 ～

信濃川水系緊急治水対策プロジェクト ～ 「日本一の大河」上流から下流まで流域一体となった防災・減災対策の推進 ～



※1:「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」
 > 緊急治水対策プロジェクトの詳細は下記にてご覧いただけます。
http://www.hrr.mlit.go.jp/river/sinanogawakinkyutisuitaisaku/sinanogawakinkyutisuitaisaku_top.htm

おおまち
大町ダム等再編事業の推進
 ながの おおまち
長野県大町市

R5事業費
 1,553百万円

事業の概要

千曲川は令和元年10月台風19号豪雨水害で甚大な被害が発生するなど、これまで幾度も甚大な洪水被害が発生しています。

このため、高瀬川の既設ダムである高瀬ダム・七倉ダムの発電容量の一部と、大町ダムの水道容量の一部を洪水調節容量として新たに確保し、下流の洪水流量をさらに減少させること、さらに流入土砂対策を行うことにより長期的にダムの機能を確保することを目的とした大町ダム等再編事業を、令和2年度より進めています。

近年の気候変動に伴い激甚化・頻発化する水害・土砂災害等に対し、ハード対策とソフト対策が一体となった治水対策である「流域治水」の一環として、再編事業を実施します。

整備効果

洪水量を低減させ、下流域の治水安全度を向上させます。

令和5年度の事業内容

土砂輸送用トンネル工事、管理設備工事 等を進め、事業の進捗を図ります。



高瀬ダム



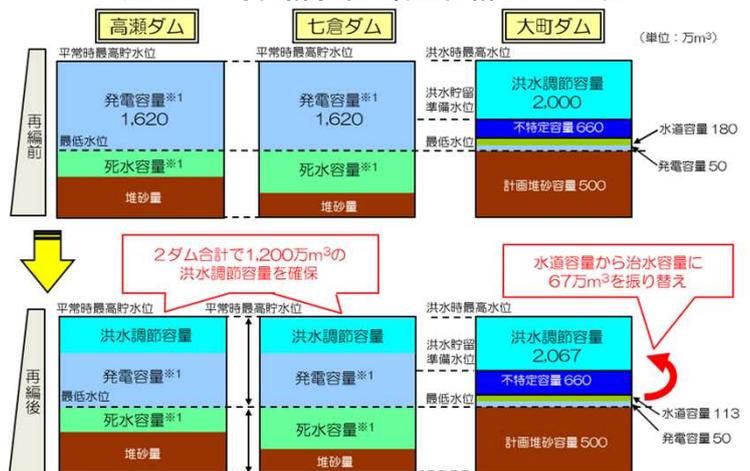
七倉ダム



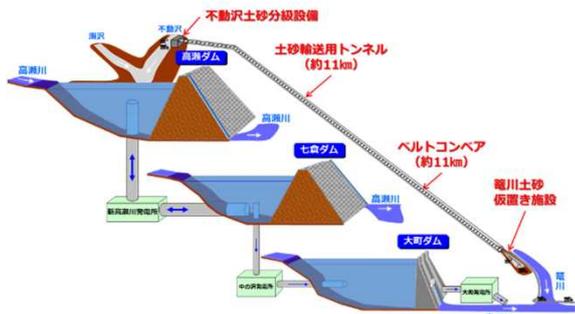
大町ダム



大町ダム等再編事業 容量再編イメージ図



大町ダム等再編事業 土砂対策イメージ図



※1：従来の堆砂を許容 ※2：図の堆砂量は再編後のイメージ

➤ 北陸地方整備局管内の流域治水プロジェクトについては、下記にてご覧いただけます。
<https://www.hrr.mlit.go.jp/river/ryuikitisui/top.html>

しなのがわ
信濃川下流水系直轄砂防事業の推進
 ながの しもみのち さかえ なかつがわ
長野県下水内郡栄村（中津川上流砂防堰堤群）

R5事業費
 399百万円

事業の概要

しなのがわ なかつがわ なえばさん とりかぶとやま
 信濃川下流水系の中津川上流域は、苗場山や鳥甲山からの火山噴出物による脆弱な崩壊斜面が多数存在し、河床には不安定な土砂が大量に堆積しており、昨今の気象変動による影響で頻発化している集中豪雨により水害・土砂災害が激甚化する危険性が高い流域です。

中津川上流砂防堰堤群では、「流域治水」の一環として土砂災害を防止するため、砂防堰堤群と溪流保全工（護岸工）の整備を実施します。

整備効果

しなのがわ
 砂防堰堤工の整備により、信濃川下流水系の土砂・洪水氾濫に対する治水安全度を向上させ、保全対象であるながの さかえ 栄村をはじめとした沿川地域における安全と安心を確保します。

令和5年度の事業内容

うえのはら
 上野原地区において、砂防堰堤工の整備を推進します。



中津川上流
 溪流保全工地点

中津川



苗場山西斜面の大崩壊地

H25. 9台風18号による出水の状況



<事業箇所の全景>

中津川上流第2号砂防堰堤
 堤

中津川上流第2号下流護岸

中津川上流第1号砂防堰堤

中津川上流溪流保全工

栃川

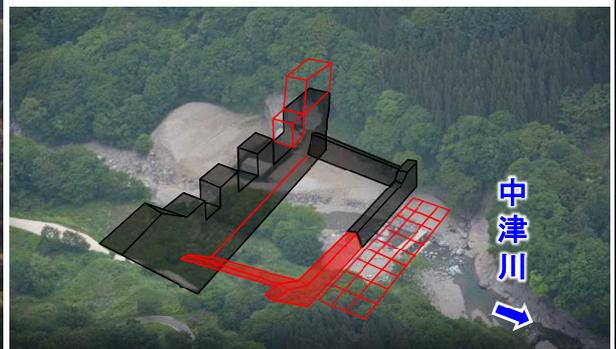
中津川



下流に位置する屋敷集落
 温泉旅館

栄村立
 秋山小学校

凡例	
■	令和4年度以前
■	令和5年度
■	令和6年度以降



中津川上流第2号砂防堰堤（整備中）

➤ 北陸地方整備局管内の流域治水プロジェクトについては、下記にてご覧いただけます。
<https://www.hrr.mlit.go.jp/river/ryuikitisui/top.html>

ひめかわ
姫川水系直轄砂防事業の推進
 ながの きたあづみ はくば まつかわ
長野県北安曇郡白馬村（松川流域砂防設備改築）

R5事業費
 270百万円

事業の概要

ひめかわ
 姫川水系の上流域は、荒廃が著しい溪流や崩壊した斜面が多数存在し、度重なる出水により流出した不安定な土砂が河床内に大量に堆積しており、昨今の気象変動による影響で頻発化している集中豪雨により水害・土砂災害が激甚化する危険性が高い流域です。

まつかわ
 松川流域砂防設備改築では、「流域治水」の一環として土砂災害を防止するため、砂防堰堤の機能向上を目的とした改築を実施します。

整備効果

ひめかわ
 砂防堰堤の改築により、姫川水系の土砂・洪水氾濫に対する治水安全度を向上させ、保全対象である長野県白馬村をはじめとした沿川地域における安全と安心を確保します。

令和5年度の事業内容

ほくしょう
 北城地区において、砂防堰堤工の整備を推進します。

➤ 北陸地方整備局管内の流域治水プロジェクトについては、下記にてご覧いただけます。
<https://www.hrr.mlit.go.jp/river/ryuikitisui/top.html>

ちくまがわ 千曲川 環境整備 自然再生の推進

ながの ちくま かみとくま
長野県千曲市（上徳間地区）

R5事業費
223百万円※

※信濃川総合水系環境整備事業のR5全体事業費

事業の概要

千曲川では、かつて広大な礫河原を有していましたが、河床低下など様々な要因によって、高水敷と低水路の高低差が拡大し、礫河原及び湿性植物群落が減少しています。さらに、アレチウリ・ハリエンジュ等の外来種が侵入・拡大し、もともと千曲川に生息する在来種の生息環境が悪化・減少しています。

本事業は、信濃川水系における流域治水の一環として、河道掘削を行うことにより、礫河原及び湿性植物群落を再生し、景観の観点からも千曲川の魅力の向上を図ります。

整備効果

礫河原及び湿性植物群落の再生を進めることで、河川特有の多様な生息地が形成されるほか、アレチウリ等の外来種の繁茂が抑制され、千曲川本来の自然環境の再生を図ります。

令和5年度の事業内容

グリーンインフラの取り組みとして、かみとくま 上徳間地区において、礫河原の再生（河道掘削）を推進します。

位置図



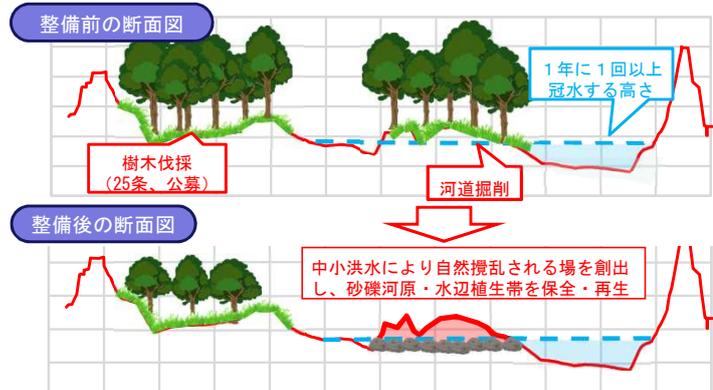
平面図



<整備済み箇所>



<河道掘削のイメージ>



➤ 北陸地方整備局管内の流域治水プロジェクトについては、下記にてご覧いただけます。
<https://www.hrr.mlit.go.jp/river/ryuikitisui/top.html>

岐阜県内の主要事業

治水

1	直轄	神通川水系(砂防) 江馬東町砂防堰堤群
---	----	------------------------



凡例	治水事業
----	------

じんづうがわ
神通川水系直轄砂防事業の推進
ぎふ ひだ えまひがしまち
岐阜県飛騨市（江馬東町砂防堰堤群）

R5事業費
67百万円

事業の概要

神通川水系の高原川流域は、荒廃が著しく不安定な土砂が河床内に大量に堆積しており、昨今の気象変動による影響で頻発化している集中豪雨により水害・土砂災害が激甚化する危険性が高い流域です。

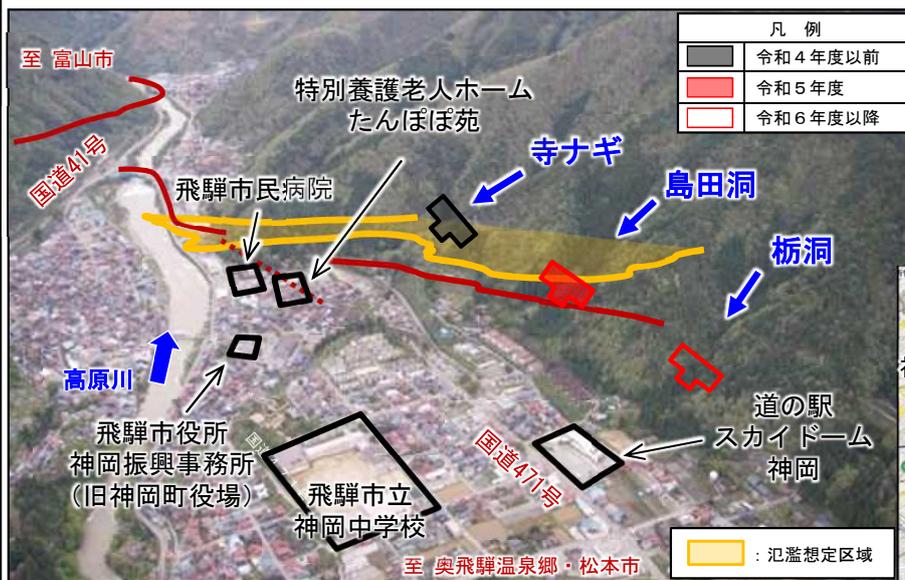
江馬東町砂防堰堤群では、「流域治水」の一環として土砂災害を防止するため、砂防堰堤群の整備を実施します。

整備効果

砂防堰堤工の整備により、保全対象である集落や道路等を土石流による被害から守るとともに、神通川水系の土砂・洪水氾濫に対する治水安全度を向上させ、保全対象である岐阜県飛騨市をはじめとした沿川地域における安全と安心を確保します。

令和5年度の事業内容

神岡町東町地区において、砂防堰堤工の整備を推進します。



事業箇所全景



島田洞砂防堰堤（整備中）

◆昭和54年洞谷災害



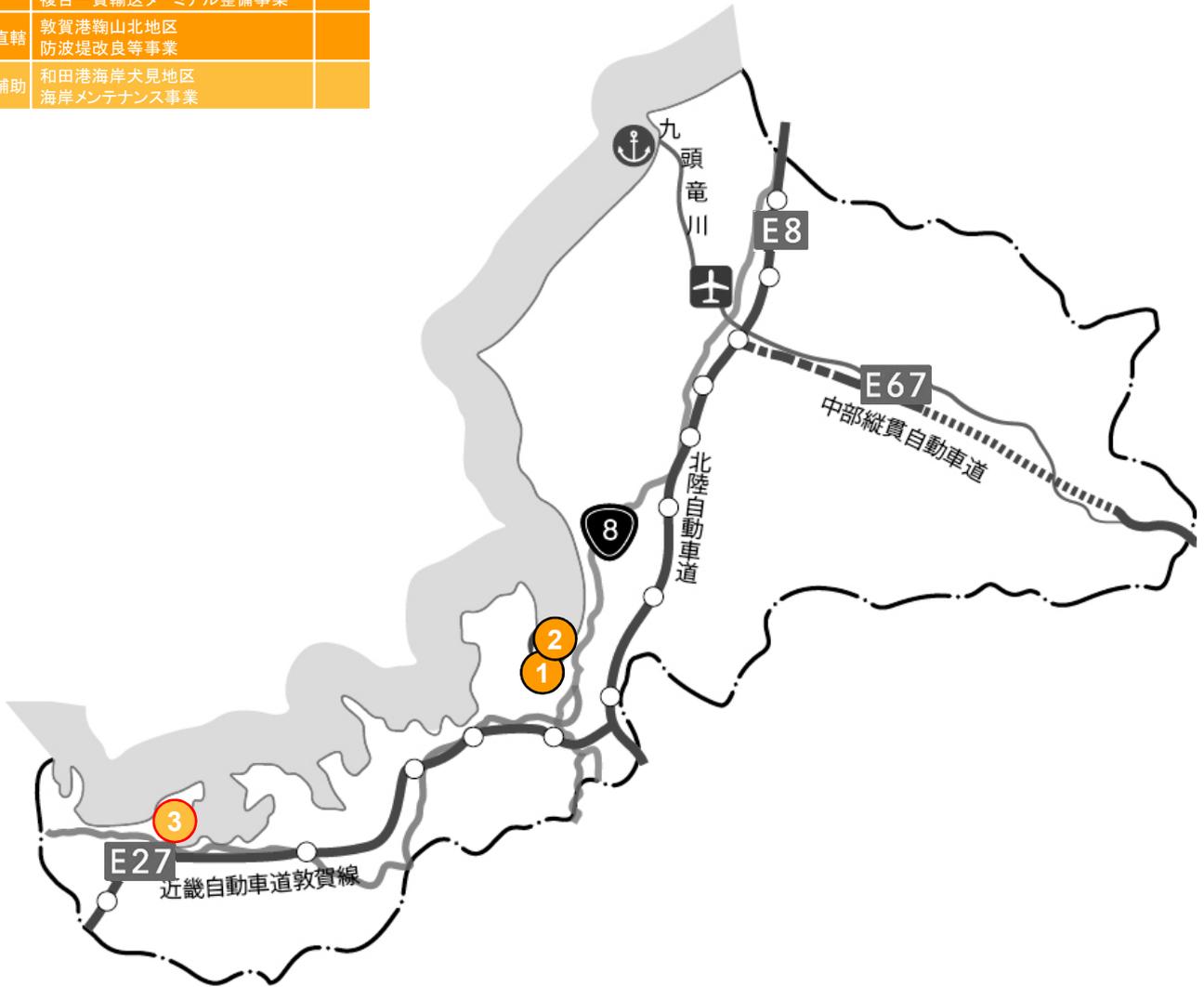
洞谷からの土石流が栃尾温泉街を直撃（旧上宝村栃尾・昭和54年8月）

➢ 北陸地方整備局管内の流域治水プロジェクトについては、下記にてご覧いただけます。
<https://www.hrr.mlit.go.jp/river/ryuikitisui/top.html>

福井県内の主要事業

港湾

1	直轄	敦賀港鞠山南地区 複合一貫輸送ターミナル整備事業	新規
2	直轄	敦賀港鞠山北地区 防波堤改良等事業	
3	補助	和田港海岸犬見地区 海岸メンテナンス事業	



港湾事業	
凡例	直轄事業
	補助事業

つるが まりやまみなみ
敦賀港 鞠山南地区

複合一貫輸送ターミナル整備事業の着手

ふくい つるが
福井県敦賀市

R5事業費
200百万円

事業の概要

敦賀港は、日本海側で唯一、北海道と九州を結ぶRORO船航路が就航し、関西・中京圏の物流を支えるとともに、外貿定期コンテナ航路が就航し、地域の経済活動を支えています。

将来の需要予測を見込んだRORO船の大型化に対応するため、鞠山南地区の複合一貫輸送ターミナルの整備に着手します。

整備効果

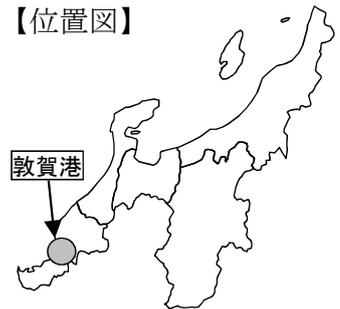
内航RORO船の大型化に対応するとともに、ユニットロード貨物を鞠山南地区に集約することで、海上輸送費用が削減され地域産業の競争力強化を図り、地域経済の安定と発展につながります。

また、耐震強化岸壁として整備することにより、サプライチェーンの強靱化、災害対応力の強化を図ります。

令和5年度の事業内容

岸壁の整備に着手します。

【位置図】



敦賀港

岸壁(水深9m)

鞠山南地区



つるが まりやまきた
敦賀港 鞠山北地区
防波堤改良事業等の推進
ふくい つるが
福井県敦賀市

R5事業費
376百万円

事業の概要

敦賀港は、日本海側で唯一、北海道と九州を結ぶRORO船航路が就航し、関西・中京圏の物流を支えるとともに、外貿定期コンテナ航路が就航し、地域の経済活動を支えています。

敦賀港では反射波によるうねりにより、安定した船舶の航行、荷役活動に支障が生じていることから、それらの就航船舶及び長距離フェリーが港内を安全に航行できるよう、また、船舶接岸時に安定した荷役活動ができるよう港内静穏度及び老朽化対策として防波堤改良事業等を推進します。整備するものです。

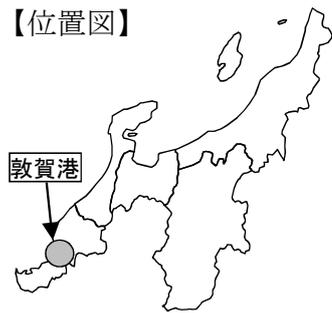
整備効果

防波堤及び護岸の改良により、就航船舶が港内を安全に航行し、安定した荷役活動ができるようになります。

令和5年度の事業内容

防波堤及び護岸の改良を推進します。

【位置図】



わだ いぬみ
和田港海岸 犬見地区
海岸メンテナンス事業の促進
ふくい ちよう たかはまちょう
福井県おおい町・高浜町

R5事業費
44百万円

事業の概要

和田港海岸は、背後に住宅等が立地しています。一方、既存の海岸保全施設は、築造後50年以上経過しており、鋼矢板の腐食等の老朽化の進行が顕著となっています。

背後地域の住民の安全を確保するために、海岸保全施設の護岸改良を促進します。

整備効果

護岸を改良し、防護機能を回復することにより、背後住民の安全を確保します。

令和5年度の事業内容

護岸の改良を促進します。

【位置図】



その他の主要事業

河川管理施設等の機能維持

北陸地方整備局管内

事業の概要

河道が有する機能を維持するため、繁茂した樹木の伐採や堆積した土砂の撤去等の河道の維持管理を、民間と連携した取組や各種コスト縮減を図りつつ行います。

また、3次元計測技術等を活用し、堤防等の河川管理施設の状態把握を効率的に行い、施設の変状や老朽化等により機能が低下した施設の更新・修繕等を計画的に実施します。

整備効果

河道の維持や河川管理施設等の修繕等を実施することで、必要な機能を回復・維持し、洪水時の安全性を確保します。

令和5年度の事業内容

○河道流下断面の維持



繁茂した河道内樹木の伐採
(対策イメージ)



公募伐採
(イメージ)



堆積土砂の撤去
(対策イメージ)

○変状や老朽化により機能低下した施設の更新・補修



損傷した護岸の修繕



回転不良が生じている
滑車の更新

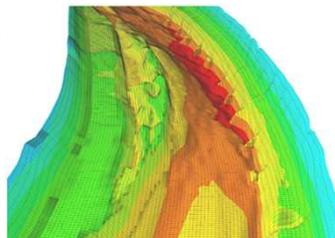


腐食したゲート設備の修繕

○河道、河川管理施設の点検・維持



施設の点検



3次元計測による
河道の状態把握

○施設点検・巡視のための堤防除草



大型遠隔除草機械
による効率的な除草



新技術による
急斜面の機械除草

道路の老朽化対策、防災・震災対策等の推進

北陸地方整備局管内

事業の概要

・道路の老朽化対策

橋梁・トンネル等の道路構造物について、適切に点検・修繕等を実施するメンテナンスサイクル（点検・診断・措置・記録）の推進に取り組みます。

・道路の防災・震災対策等

大規模災害時の救急救命活動や復旧支援活動を支えるため、緊急輸送道路の強化を推進します。

令和5年度の事業内容

道路の老朽化対策

<橋梁>



（点検）



（橋脚梁部の損傷）



（対策イメージ：断面修復）

<トンネル>



（点検）



（覆工の損傷）



（対策イメージ：断面修復）

道路の防災・震災対策等

<耐震補強>



（対策イメージ：落橋防止装置）

<防雪対策>



（対策イメージ：地吹雪防止柵）

道路利用者団体と連携した渋滞対策の推進

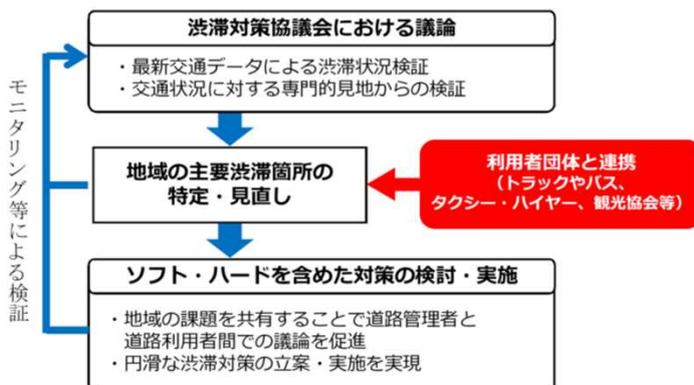
北陸地方整備局管内

事業の概要

各県単位で、道路管理者、警察等から構成される渋滞対策協議会において、効果的な対策を検討・実施しています。

この渋滞対策協議会とトラックやバス等の利用者団体が連携を強化し、利用者の視点で渋滞箇所を特定した上で、速効対策を実施します。

【渋滞対策の流れ】



令和5年度の事業内容

位置図



のうえつ たかおかきた たかおか
能越自動車道 高岡北IC入口交差点 (富山県 高岡市)



<<信号現示の調整を予定>>

おきょうづか ののいち
国道8号 御経塚交差点 (石川県 野々市市)



<<右折レーンの延伸を予定>>

令和5年度の道路調査の見通しについて（ネットワーク）

個別路線の事業化に向けて、ルート・構造検討に係る調査等を進めます。
主な調査箇所は、下記の通りです。

【主な調査箇所】

概略ルート・構造の検討（計画段階評価を進めるための調査）

新潟県 新潟山形南部連絡道路（片貝～金丸）
富山県 高岡環状道路（北側区間）

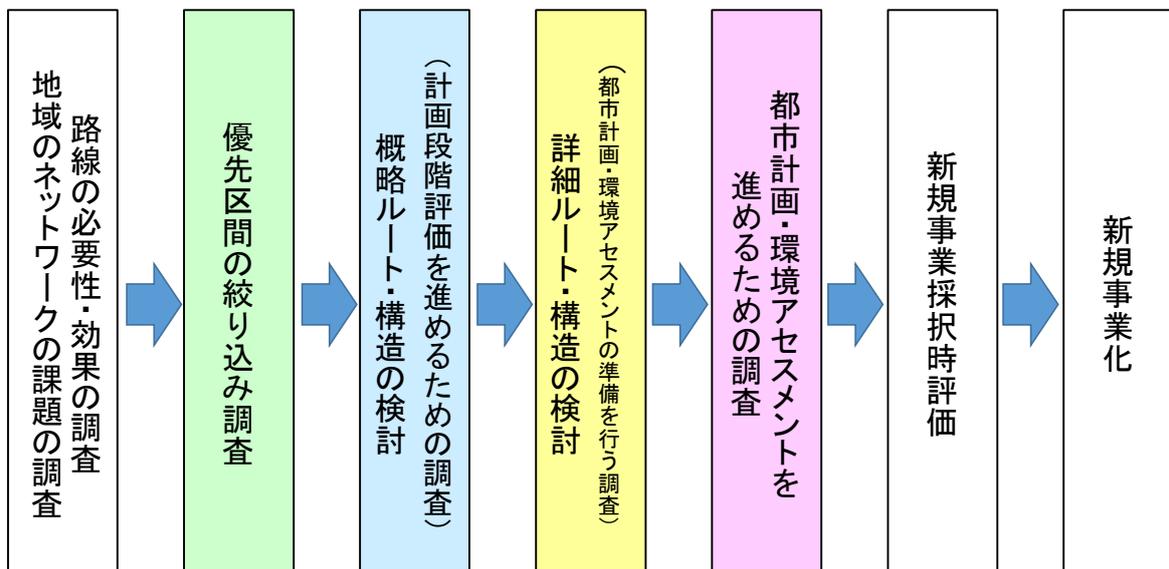
国道17号の湯沢地区などの災害に対する脆弱区間については、防災機能の向上や幹線道路の機能強化等に係る調査を実施します。

富山県西部地区及び石川県中能登地区について、国道160号の災害等に対する脆弱区間を踏まえ、規格の高い能越自動車道やのと里山海道、それを補完する道路の機能強化に向けた調査を石川県・富山県・地元自治体と連携し進めます。

その他の未整備区間についても、当該地域の交通状況、社会経済状況や道路網の課題等を調査し、優先区間の検討や地域の道路網の中での必要性・整備効果の整理等を進めます。

また、渋滞や交通安全など、地域における道路交通に関する課題、サービスレベルを把握するためのデータ収集・分析等を行うとともに、路線の必要性、緊急性、妥当性に関する基礎的な調査を実施します。

<道路調査の流れ>



令和5年度の道路調査の見通しについて(交通拠点)

交通結節点事業について、一般国道7号 新潟駅交通ターミナル整備事業を推進します。

また、地域の交通課題を把握するためのデータ収集・分析等を行うとともに、道路ネットワークにおける拠点の機能強化の必要性、緊急性、妥当性に関する基礎的な調査を実施します。

<交通拠点の調査の流れ>

